

今月は漢字3文字の言葉から「Enjoy&Fun」という堀場さんのスローガンまでを展開しました。何事も基本は大切ですが、そこから発展するには「意外性」が必須になります。思わぬことから新しい展開が始まるものです。 栩野

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、動きづくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

## 「守破離」「序破急」「知好楽」

右掲は、芸事の世界で使われている漢字3文字の言葉です。他にもあるかも知れませんが、3つご紹介しています。私は、「守破離」という言葉は茶道などで使われており有名なので、以前から知っていましたが、「序破急」は落語の「つかみ」と「おち」という関係で認識していましたし、「知好楽」という言葉も日常の事なので認識していませんでした。

しかし、こうして改めて見直しているとそれぞれの奥深い意味合いが味わえて来ます。「守破離」は、私などは野球では長嶋茂雄さんに憧れて投球をサイドスローに変えたり、バットスイングも真似たりした経験があるように「憧れる」という事がキーでした。仕事の面では、トヨタ方式を学び、その師匠である鏝本正先生、船井流のコンサルティングでは船井幸雄先生と素晴らしい先生に学び憧れて来ました。

また、「序破急」は、セミナーなどの講演で役立っています。船井総研で勉強した時の宮内先生は、「序」として、その地域のこと、業界のことなどをネタふりして笑わせながら「つかみ」を得て講演されていました。「急」としては、必ず、講演で話した中から「本日、お伝えしたかった事」として「ふりかえり」をされて「落ち」としてさらにインパクトを与えていました。

3つ目の「知好楽」は、私は「変革」のコツと考えています。まず、「知」として「これは、おもしろい」と知る(思

### 『守破離』

「守」: 師匠の通り真似る

「破」: 真似るなかでコツをつかむ

「離」: そのコツを活かして自分流

### 『序破急』

「序」: 相手の心をつかむ

「破」: 本題を演じる

「急」: 印象に残る「おち」を演じる

### 『知好楽』

「知」: まず、知るという努力

「好」: 知る努力を積重ねて好みに

「楽」: 好きを続けて楽しむ域に

## 「知好楽」⇒『Enjoy&Fun』

う)事から始まるのです。この「おもしろい」というDNAの反応を「行動」に移すことが第1ステップなのです。「行動」を起すことによって何らかの結果が出ます。この「結果」に対して、善いことであろうが悪いことであろうが「次の行動」(NA:Next Action)を起す事が重要なのです。「3回安定10回固定の原則」と船井先生は教えてくださっていますが、最低でも「3回」続けることが重要です。「継続は力なり」と言いますが、それは「好きこそ物の上手なれ」という格言のように「好き」がキーになります。即ち、最初の3回で「好き」という印象を持てるように「成果」につながるように仕組むことがポイントになります。こうして、「成果」が出始めると「コツ」もつかめているので「楽」しいという状態のレベルになるのです。

私は、さらに、「Enjoy&Fun」という堀場さんの言葉を付け加えています。Fun(遊び心のある楽しみ、悪戯)という事が非常に重要だと思います。楽しいだけでは発展性に乏しいのです。ちょっとした悪戯心があつて、さらに、新しい境地が開かれると思っています。この「意外性」というような境地がないと幾らEnjoyとしてもマンネリが蓄積して垢が溜まってしまい、本人はよくても外部からは「つまらない」という「独りよがり」な状態に陥ってしまいます。

現在、63才ですが、今さら、大きく新しいことにチャレンジできる訳でもなく、この「遊び心」を磨きたいと思っています。「知的資産経営計画書」と言われるように「過去」を財産としながらも「遊び心」で経験を新しいものに磨いて行くと言うことが大切と考えています。「伯楽」として、この心で若い人たちと接して、経験を活かして行きたいと考えています。

### ワンポイント・アドバイス

#### 「in fun」

“in fun”は、冗談に、ふざけてという事ですが、この心境が重要と思っています。まじめに没頭する姿も重要なのですが、やはり、視点を変えるためにも「ふざけて」みる事から意外な展開が始まるきっかけになるので、心の「ゆとり」が必要。

